

クラス番号	607	湯原悦子	湯原悦子
テーマ	社会問題の真の「解決」について考える －虐待、非行、犯罪などの事例を通して		
著書・論文 研究課題等	著書:『介護殺人－司法福祉の視点から』 クレス出版 2005年(単著)、『介護家族をささえる－認知症家族会の取り組みに学ぶ』中央法規出版 2012年(共編著) 論文:「介護殺人事件の裁判における社会福祉専門職の関与に関する研究」『社会福祉学』56(1),2015年、「介護者セルフアセスメントシートの効果検証」『日本認知症ケア学会誌』13(3),2014年、「子ども虐待死の検証に関する考察－先行研究の到達点と今後の課題」『子どもと福祉』第1号 2008年		

ゼミナール 概要

キーワード：司法福祉、虐待、非行、犯罪

<達成目標>

2年経った後、ゼミ生一人ひとりが「人権の尊重」に対する自分なりの視点を持ち、複雑な社会問題を読み解き、課題の克服のために動き出せる力を身に付けていることを目指します。

<内 容>

このゼミは「司法福祉」について深く学びます。…司法福祉とは何でしょう？

司法福祉は、法的決着がついてもなお残る人々の生きづらさ、時を変え、場所を変え、同じような問題が繰り返される事項について、福祉の視点から「真の」意味での解決、法的な解決とともに臨床的な解決のあり方を模索する学問です。

例えばある事件について裁判が行われ、法的な解決がなされたとしましょう。はたしてそれですべてが終わった、と言えるのでしょうか？必ずしもそうとは言えませんよね。子ども虐待も、介護殺人も、同じような事件が全国各地で繰り返し生じています。つまり、裁判が終わっても、その事件の背景となった社会的な問題の解決がなされていなければ、同様な事件が再発する可能性は高いのです。大事なのは、なぜそのような事件が生じたのか、加害者はなぜそこまで追い詰められたのかを明らかにしていくことです。そのうえで、どうしたらよいのかを考えなければなりません。

このような問題意識から、ゼミでは主に2つのテーマを掘り下げていきます。一つは虐待、非行、犯罪などの具体的な事件をもとに、現代の家庭や地域、社会が抱える問題を理解することです。もう一つはこれらの問題が生じる背景を読み解き、自分なりの問題意識を持ち、課題克服に向けて何をすべきか構想できる力を身に付けることです。

ディスカッションを通じて事件の理解を深め、問題の本質は何なのか、問題解決に向けどのようなアプローチ方法があり得るか、それらの限界は何か、家庭や地域、社会に求められることは何かなどについて深く考えていきたいと思えます。そして1年後には、ゼミ生それぞれが自分自身の課題を見つけることができるよう、個別指導に力を入れていきたいと思っています。

司法福祉って、なんか難しそう…。そう思う人、安心してください。司法福祉は3、4年生の受講科目です。皆がゼロからのスタートです。実際に生じた事件をもとに学習するので、取り組みやすいと思えます。福祉と法律、両方の考え方を学べるので、きっと将来役に立ちますよ！

<方法と授業計画>

3年生の前期では、皆で定めたテーマに関する資料や文献を読み、基礎知識の習得を目指します。毎回、報告者が資料や文献の要約を発表し、それに基づき皆で話し合いを行うことによって知識を深めていきます。その際にレジュメの書き方、発表の仕方、話し合いの仕方も学びます。3年生の後期では、具体的な事例の検討を行ったり、ディベートをしたりして、個々の思考力を高め、得た知識を使いこなせるようにしていきます。必要に応じ、地域の市民団体や支援を行っている機関などの訪問、ソーシャルワーカーへのヒアリング、具体的事件の裁判傍聴なども行います。

4年次では今までの学習をもとにそれぞれが研究テーマを設定し、4年間の集大成として卒論執筆に取り組みます。また、ゼミの時間に卒論の中間発表を行い、皆での話し合いを通して気付きを深め、問題点への切り込みをより鋭くしていきます。

※ゼミの時間以外に行う活動について

ゼミ生の皆さんには、社会の現実を知っていただくために市民団体への訪問や具体的事件の裁判傍聴、この領域の最新の動向を知ることができる研究会や学会への参加を奨励しています。ただし、これらの活動は週1回のゼミの時間内では行うことができません。時には時間外、交通費のかかる活動への参加も予定しておいてください。

※学習内容の注意点

3年後期に学ぶ課題は、学生の興味関心、意向を確認したうえで決定します。

担当教員からのメッセージ



・エントリーシートを頼りにゼミ生を決定しますので、ご自身の関心や疑問に思っていること、ゼミでやりたいことなどをできるだけ詳しく書いてください。

・ゼミは講義と違い、一人ひとりの個性を尊重し、お互いに学び合える場です。分からないことや興味をもったことを率直に出し合い、柔軟に考えていく姿勢を大事にしたいと思っています。

…皆さんとの出会いを心から楽しみにしています！